

常陸大宮市木質バイオマス利活用事業

常陸大宮市の総面積の6割を森林が占めており、間伐等により放置された林地残材を木質バイオマスエネルギーとして利用することにより、市内に豊富に存在する森林資源の有効利用、地球温暖化対策として化石燃料消費量の削減、燃料の地産地消による地域経済の活性化を図るため、木質チップの製造施設を整備し、また木質チップを燃料として利用する木質バイオマスボイラーを市内の温泉温浴施設へ導入することを進めています。

木質チップの集積・製造から供給(イメージ図)

材の集積



森林から林地残材等をチップ製造施設まで搬出

チップ製造



チップ製造施設



チップ製造の様子



破碎したチップ

施設へ供給



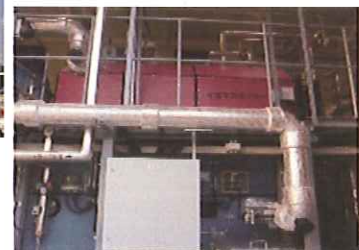
ささの湯



四季彩館



三太の湯



木質バイオマスボイラー

事業の内容

1. 山林から木材の集積
 - ・除伐・間伐等で発生した林地残材を集積し、チップ製造施設へ搬出します。
2. 木質バイオマスチップ製造施設
 - ・集積した林地残材をチップに加工し、市内温泉温浴施設(ささの湯・三太の湯・四季彩館)に供給します。
3. 木質バイオマスボイラー設置
 - ・市内温泉温浴施設(ささの湯・三太の湯・四季彩館)へ木質バイオマスボイラーを設置。
 - ・木質チップを燃料とするバイオマスボイラーによりお湯を温めます。
 - ・木質バイオマスボイラー導入により化石燃料消費量を削減します。

平成27年4月より、「ささの湯」へバイオマスボイラーを導入し、稼働しております。
今後、市内温泉施設である、「三太の湯」、「四季彩館」へバイオマスボイラーの導入を予定しています。

木質バイオマスボイラー導入による効果

- CO2排出量の削減による地球温暖化防止
- エネルギー経費の削減
- 化石燃料から非化石燃料エネルギーへの転換
(エネルギー自給率の向上)
- 地域内における未利用バイオマス資源(間伐材等)の活用

